

研究成果報告会
2015年10月23日

地方自治体主導型 広域地域組織の形成 —秋田県・京都府・山口県を対象として—

福田竜一・江川章※・草野拓司

農林水産政策研究所

※中央大学経済学部

はじめに

秋田県，京都府，山口県の 地方自治体主導型広域地域組織

- 広域地域組織の組織形態
- 広域地域組織の活動内容
- 広域地域組織の人材確保・育成

秋田県の広域地域組織と 支援施策

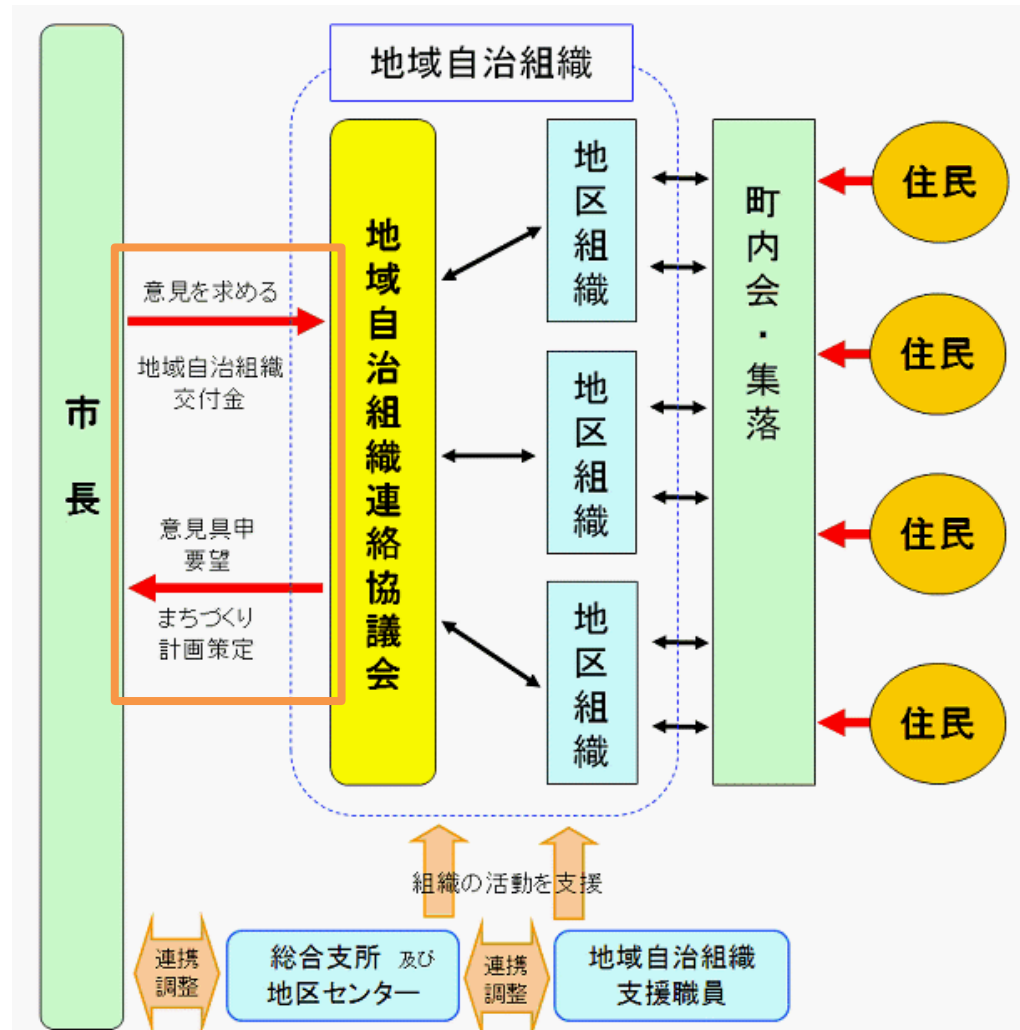
秋田県AP市について

合併を契機に広域地域組織支援を開始
(2005年に1市2町1村が合併)

合併前の4市町村に
地域自治組織連絡協議会
(連絡協議会)

小学校区単位で
23の地区組織

「地域自治組織」のイメージ



広域地域組織支援施策の概要

提案・協働型を理想

- 地域自治組織に地域審議会機能を付加

まちづくり計画の策定

- 町内会，集落会のメンバーで策定
- 住民総会等で承認が求められる

AP市による地域自治組織交付金

コミュニティ活動交付金

- **基本額** (1万円×自治会数, 5百円×世帯数)
- **加算額** (1百円×公共的事務事業を実施する自治会等の世帯数)

地域づくり事業交付金

- **自主的に実施する事業**
 - 上限50万円

AP市による人的支援

市民生活部
くらしの相談課

- 全体的な支援

支所地域振興班
地区センター

- 連絡協議会と地区組織を支援

支援職員

- 各地区に居住の市職員が地区組織活動を支援

地区組織形成の背景と契機

	AA地区	AB地区
組織 範囲	小学校区 (藩政村)	中学校区 (明治合併村)
集落数 人口 高齢化率	18集落 2,399人 40%	19集落 2,520人 35%
設立 経緯	各町内会長に 地域の会長の「辞令」 (2005年合併時)	旧AB村時代 から「地域づくり」 を推進

組織形態

	AA地区	AB地区
上部組織	総会	定期総会 集落代表者会議
下部組織	総務・広報部会 暮らし・環境づくり部会 夢・魅力づくり部会	地域づくり委員会 販売戦略検討委員会 広報編成委員会
人員	64名 (支援職員32名)	約40名

活動内容

	AA地区	AB地区
イベント	河川公園の整備， 川遊びイベント， 芋の子汁会の実施（サトイモは部会で栽培）	紅葉まつりの実施 ・ 住民アンケート ・ 参加者500名 ・ 観光客向け「軽トラ市」
地域資源	城址跡の整備と歴史ツーリズム 「城址再生計画」策定・実行	自然林の利活用 自然と親しむ会，水路見学会，環境林保全活動

写真（左：AA地区の川遊びイベント，芋の子汁。右：AB地区山村ツアー）
〈秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイトより引用〉

<http://common3.pref.akita.lg.jp/genkimura/index.html>



取組の成果と課題

	AA地区	AB地区
成果	• 場づくりを実現 • 住民の貢献意識が高まった	• 取組みの優先順位 • 集落との仕分け
課題	• 世代交代が進まない • 若者・女性の参加率向上	• 住民の参加率の向上

京都府の広域地域組織と 支援施策

府の広域地域組織支援施策

'09年度 **共に育む『命の里』事業**開始

小学校区単位での**地域再生計画**の策定と、集落連携型の**地域連携組織**の設立を条件に支援（**原則3年間**）

支援策は①**人材派遣と人材育成（里の「仕事人」と里の「仕掛け人」）**，②生活・営農環境整備，③地域活力再生，④ビジネス支援と地域見守り

府による「人材派遣」

	里の仕事人	里の仕掛け人
人材	府職員	マネージャータイプ： 住民（全体運営）
		社会企業タイプ： 移住者（公募）
役割	- 事務局業務 - 地域の自主性を引き出す	社会起業タイプ： 農作物の販売マネジメント， ビジネス化等

組織形成の背景と契機

	KA地区 (明治合併村)	KB地区 (明治合併村)
所在地	府北部・KP市	府北西部・KQ市
集落数 人口 高齢化率	5集落 521人 42%	8集落 687人 45%
設立 経緯	村づくり委員会 (3集落)が 会社, NPO法人 を設立	1957年 8集落の区長で 合同会議を開始 '09年 村づくり委員会を基 に地域連携組織設立

組織概要

	KA地区	KB地区
構成団体	関係7団体と5集落	8集落と2団体（NPO法人，地域塾）
活動の実施 主体・分担	5つの委員会が 活動方針を決定 会社，NPO法人 が活動を実行	地域連携組織：全体 調整・意志決定 5つの委員会が 活動の担い手
仕事人	会議資料作成や事務 申請作業など	書類作成，行政上・ 法務上の助言
仕掛け人	施設活用計画の策定 や農村ビジネス	NPO法人が雇用，古 民家レストラン

活動内容

	KA地区	KB地区
現状	- 体験工房の設置と運営 - 古民家の再生・宿泊施設化 - 公園の管理（指定管理者）	- 祭り，運動会の実行 - 空き家調査，移住者受け入れ - 集落営農組織や集落協定組織との連携
今後	農地の管理，農道等の整備	ゲストハウス，空き家の整備

写真（上段：府事業のステッカー。 下段：KA地区の体験工房）



写真（上段：KB地区の連携NPOが運営する古民家
レストラン。下段：KB地区のゲストハウス）



取組の成果と課題

	KA地区	KB地区
成果	• 問題意識の醸成 • 集落超の範囲での意思決定	• 事業や人材の受け皿 • 関係組織との連携・協力体制の構築
課題	• 事業終了後も、地域連携組織が自立的に地域振興すること • 里の仕事人に代わる事務局体制整備 • リーダーの確保・育成	

山口県の広域地域組織と 支援施策

広域地域組織支援施策の概要

「中山間地域づくりビジョン」
を県が策定（2006年）

- 平成の市町村合併の進展
→中山間地域の周辺化
- 住民アイディアを活かした地域の夢プラン
- 新たな地域組織を手づくり自治区と呼称

市町と県の役割分担

市町は地域と協働して地域づくりを推進

- 地域活性化を**主体的**に実施

県は地域づくりの「コーディネーター」

- **地域づくりモデル**の創出
- 地域づくりの**専門家の派遣**

組織形成の背景と契機

	YA地区 (明治合併村)	YB地区 (藩政村)
設立 経緯	・ '04年の市町合併後、 市が支援を開始 ・ 県モデル事業に選 定後の'09年に設立	1980年代 住民有志が設立
集落数 人口 高齢化率	20集落 848人 44%	13集落 404人 50%
地域計画 の作成	住民アンケートや住民説明会の 実施	

組織概要

	YA地区	YB地区
組織体制	事務局と3部会	• 総会（全住民参加） • 事務局と3部会 • 16の連携団体（小学校PTA, JA女性部など）
人員	会員数32名 （うち役員9名） 市職員9名 （含む集落支援員）	役員約10名 部会員延べ60名程度 地域おこし協力隊1名

活動内容

YA地区	YB地区
ほたる部会 • ほたるまつり，芋煮え祭り等の交流イベント	交流部 • ほたるまつり • 移住希望者への対応
トンネル部会 • 廃線跡（トンネル）の整備	経済部 • 手づくり弁当の製造・販売
グリーンツーリズム部会 • 体験農園，農業体験	互助部 • 便利屋（独居高齢者世帯），ミニデイサービス，オンデマンド交通の計画

写真（YA地区が整備したトンネル）



取組の成果と課題

	YA地区	YB地区
成果	• 地域資源の「発見」（トソ礼） • 観光客の集客（ほたるまつり他）	• 事業は収支均衡 • 様々な活動に取り組む → 住民認知度が高い
課題	トンネルの活用方法（イベントでの活用） 住民の参加率向上	新しい取組みの導入（オンデマンド交通，手作り弁当等）

地方自治体主導型 広域地域組織の考察

組織形態

基本は部会・委員会制

- 住民の一部が広域地域組織を運営

住民の最も身近な拠り所は集落

- 集落と広域地域組織はパートナーだが・・・
- 集落機能の補完へシフトする可能性も

活動内容

イベント開催や地域資源の活用

- 一部には経済事業の取組も

組織の維持・継続が当面の目標

- ゼロから立ち上げた組織の脆弱性

地域内他組織との連携可能性

- 両者の「協働」から統合的发展

人材の確保・育成

外部人材の導入は支援に依存

- ハード事業と共に支援の中核

内部人材の確保に課題

- 運営する住民は60歳代以上が大半

地方自治体による 広域地域組織への支援

組織設立に向けた支援

- 組織設立と計画策定の住民への「働きかけ」と支援
- 適切な地域範囲の「見極め」（小学校区など）

組織設立後の支援

- イベントや取組みに対する「人的・資金的支援」が中心
- 「取組みやすさ」や「継続可能性」に重点がおかれやすい

組織自立化に向けた支援

- 自主財源の「獲得」に必要なコミュニティビジネス等への支援
- 社会性・公益性の高い活動等への継続的支援・補助の実施